

夏木立

五井 昌久

ばつたりと尼に会面ひし夏木立

旅のわれ尼に目礼(みや)する夏木立

大き寺出でて庭の百日紅(さるすべり)

遠来の客待つ庭の百日紅

雷雲の空見上げつつ谿下る

万緑の深谷(たに)烈日の天を入れる

野の大樹さきて雷光地にもぐる

地にささる雷雨天父の声のごと

庭木立雷雨に和して合唱す

雷雨爽快一物もなき心なり

句集『盆太鼓』より